

名古屋市中央卸売市場

流通量推計調査〔第2回〕

■ 調査の趣旨及び方法

この調査は、国において実施する中央拠点市場基準への該当状況等の確認に対応するため、名古屋市中央卸売市場で取引される生鮮食料品について、供給先・供給量の状況を把握するものであり、名古屋市中央卸売市場の卸売業者・仲卸業者に調査票を配付し集計することによって実施した。

■ 調査対象者及び回収状況

名古屋市中央卸売市場本場、北部市場及び南部市場における下記の業者

▼卸売業者（青果部・水産物部・食肉部） … 回収状況 100.0%

▼仲卸業者（青果部・水産物部） … 回収状況 97.8%

本場青果部 100.0%、北部市場青果部 94.0%

本場水産物部 100.0%、北部市場水産物部 96.8%

■ 調査実施日

青果部・水産物部 平成24年9月20日（木） [第3木曜日]
食肉部 平成24年9月10日（月）～14日（金） [第3週]

■ 調査内容

▼供給地域（調査対象者が販売した相手方の営業所の所在地）

◇名古屋市・豊山町（以下「開設区域」という。）

◇愛知県（開設区域を除く）

◇岐阜県・三重県

◇中部6県（静岡県・長野県・滋賀県・福井県・石川県・富山県）

◇その他

▼供給先業種（調査対象者が販売した相手方の業種）

◇一般小売店 （青果等・鮮魚等専門小売店、売り場面積250㎡未満の業者）

◇大型小売店 （売り場面積250㎡以上のスーパー、百貨店、生協）

◇大口需要者 （給食業者、飲食業者）

◇問屋 （卸売業者、仲買業者）

◇その他の事業者（加工業者など）

▼調査対象者が販売した品目とその数量

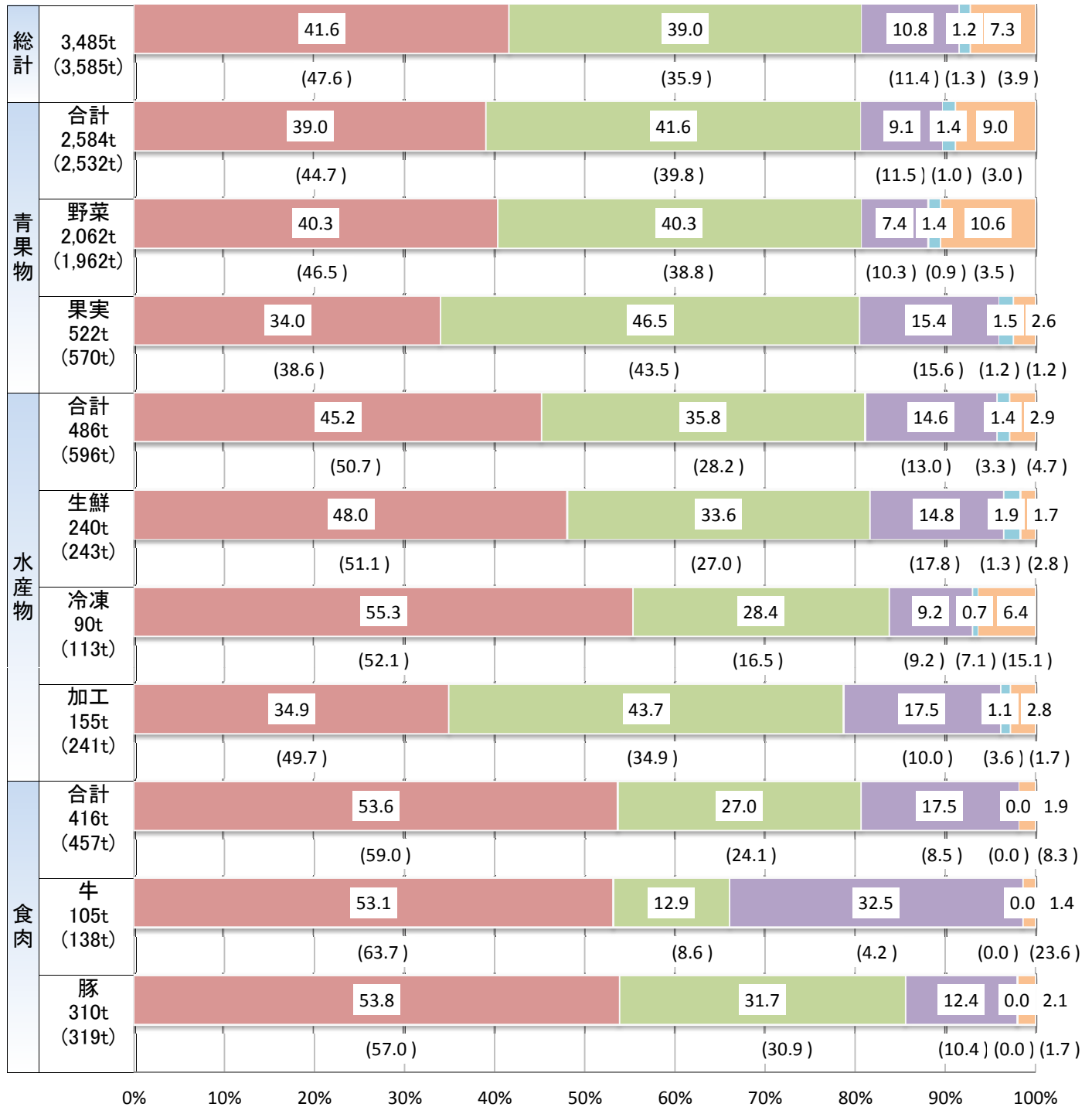
◇青果物 野菜・果実

◇水産物 生鮮水産物・冷凍水産物・加工水産物

◇食肉 牛・豚

品目別の供給地域の比較

■ 開設区域 ■ 愛知県 ■ 岐阜県・三重県 ■ 中部6県 ■ その他

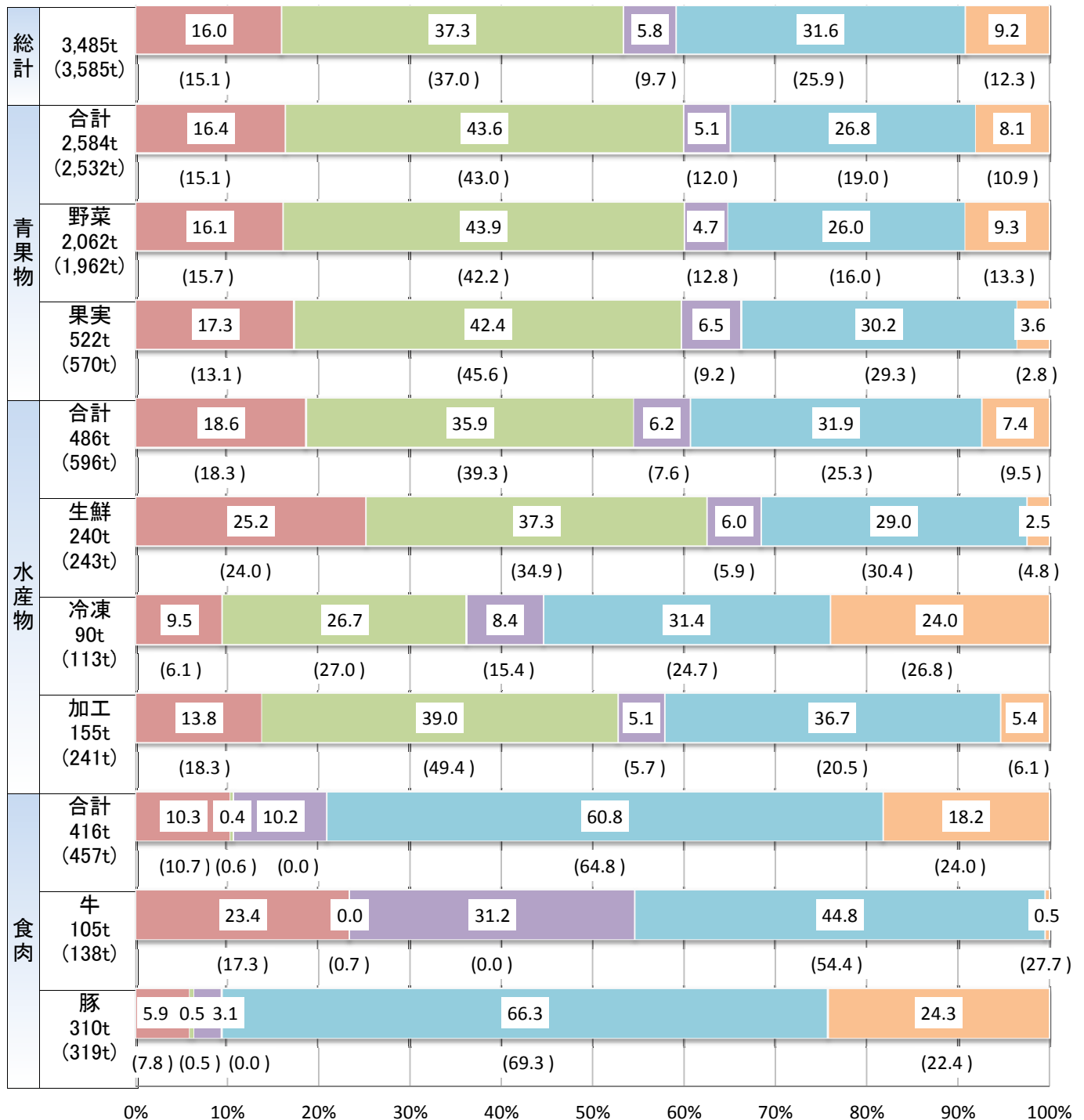


注: ()内数値は前回〔調査日: 平成23年9月15日(木) 〕

- 青果物では、野菜は「開設区域」と「愛知県」が同じ割合で、合わせて8割程度を占めている。果実は「愛知県」が「開設区域」より高く、両方合わせると野菜と同じく8割程度を占めている。
- 水産物では、生鮮水産物・冷凍水産物は「開設区域」の割合が最も高く、加工水産物は「愛知県」の割合が最も高い。
- 食肉では、牛・豚とも「開設区域」の割合が最も高い。

品目別の供給先業種の比較

■ 一般小売店 ■ 大型小売店 ■ 大口需要者 ■ 問屋 ■ その他

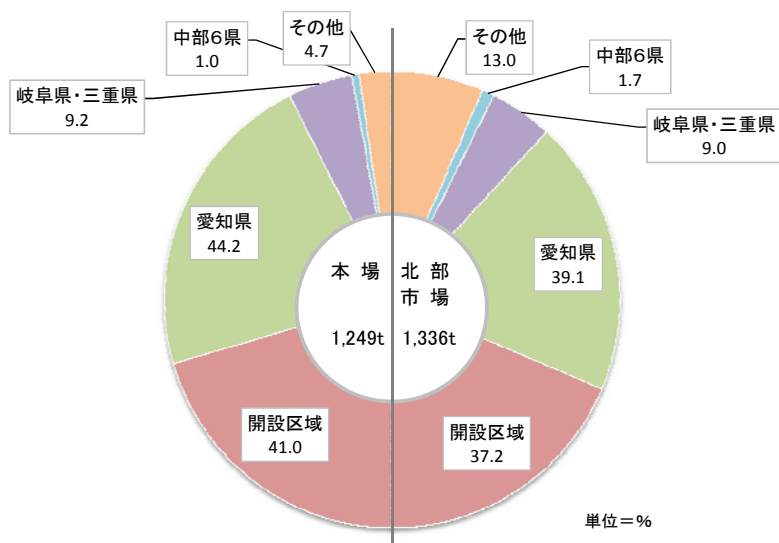


注: () 内数値は前回〔調査日: 平成23年9月15日(木) 〕

- 青果物では、野菜・果実とも「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」となっている。
- 水産物では、生鮮水産物・加工水産物は「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」となっている。一方、冷凍水産物では「問屋」の割合が最も高く、次いで「大型小売店」となっている。
- 食肉では、牛・豚ともに「問屋」の割合が最も高い。

青果物の市場別の供給先

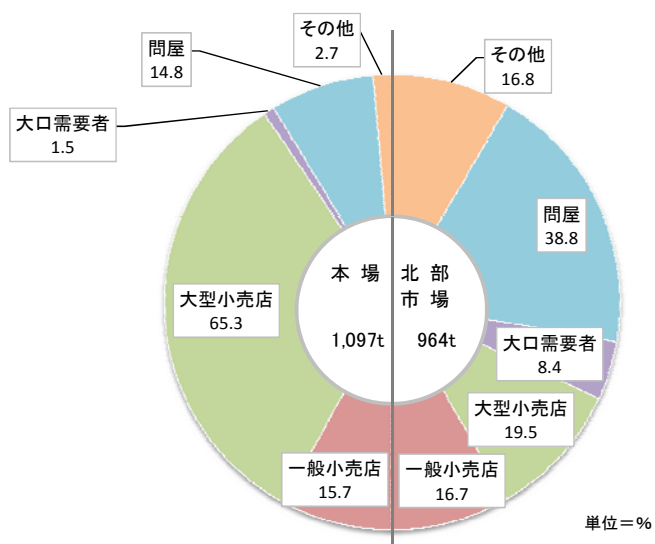
■ 青果物の供給地域



○ 青果物の供給地域は、本場は「開設区域」と「愛知県」で8割以上、北部市場については7割以上を占めている。

○ 「岐阜県・三重県」「中部6県」の占める割合は、本場・北部市場ともに同程度。

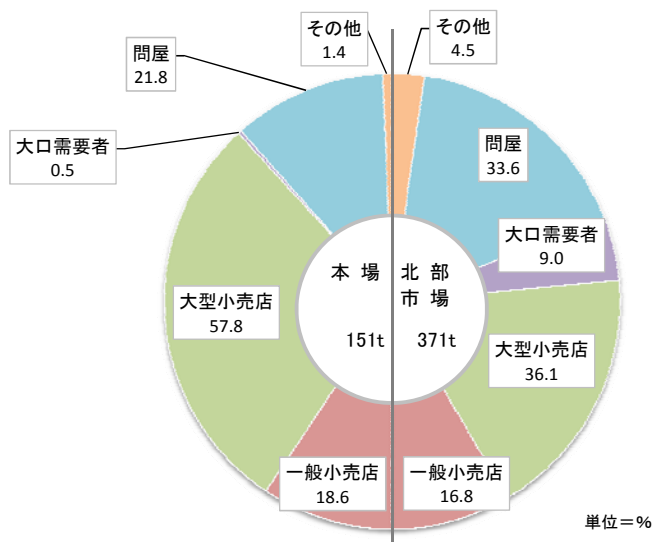
○ 野菜の供給先業種



○ 野菜の供給先業種は、本場は「大型小売店」が、北部市場は「問屋」の割合が最も高い。

○ 本場は北部市場と比較して「大型小売店」の割合が高く、一方北部市場は本場と比較して「大口需要者」「問屋」の割合が高い。

○ 果実の供給先業種

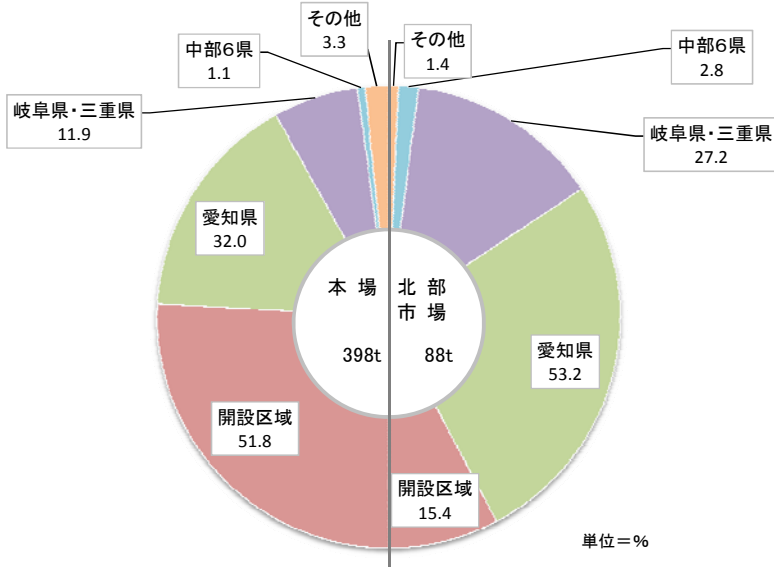


○ 果実の供給先業種は、本場・北部市場ともに「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」「一般小売店」となっている。

○ 本場は、北部市場と比較して「大型小売店」の割合が高く、北部市場は本場と比較して「大口需要者」「問屋」の割合が高い。

水産物の市場別の供給先

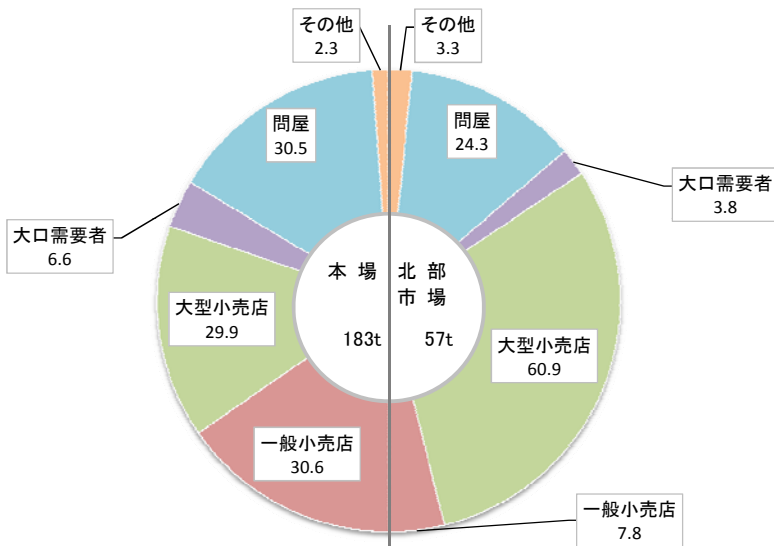
■ 水産物の供給地域



○ 水産物の供給地域は、「開設区域」と「愛知県」で本場は8割以上、北部市場は7割程度を占める。

○ 本場は、北部市場と比較して「開設区域」の割合が高く、北部市場は本場と比較して「愛知県」「岐阜県・三重県」の割合が高い。

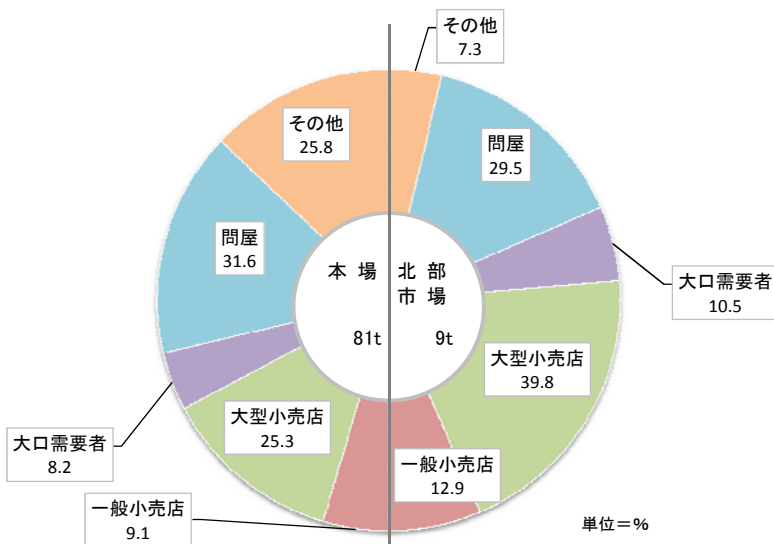
○ 生鮮水産物の供給先業種



○ 生鮮水産物の供給先業種は、本場は「一般小売店」「問屋」「大型小売店」がほぼ同程度を占める。一方北部市場は「大型小売店」の割合が最も高い。

○ 本場は、北部市場と比較して「一般小売店」「問屋」の割合が高く、北部市場は本場と比較して「大型小売店」の割合が高い。

○ 冷凍水産物の供給先業種

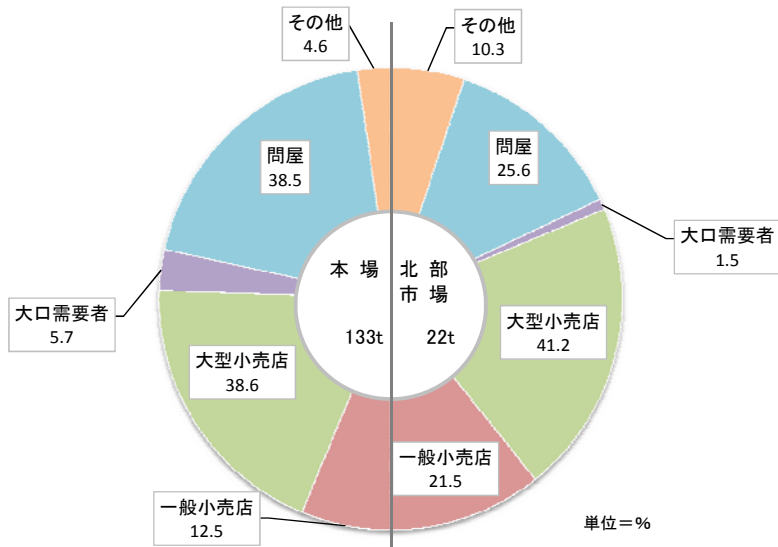


○ 冷凍水産物の供給先業種は、本場は「問屋」が、北部市場は「大型小売店」の割合が最も高い。

○ 「大口需要者」「問屋」は、本場・北部市場ともにほぼ同程度の割合

水産物の市場別の供給先

○ 加工水産物の供給先業種

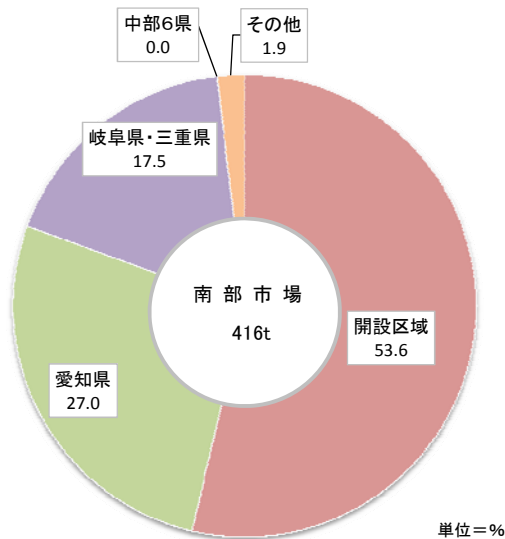


○ 加工水産物の供給先業種は、本場は「大型小売店」「問屋」の割合が同程度で高く、北部市場は「大型小売店」の割合が最も高い。

○ 本場は北部市場と比較して、「問屋」の割合が高く、北部市場は本場と比較して「一般小売店」の割合が高い。

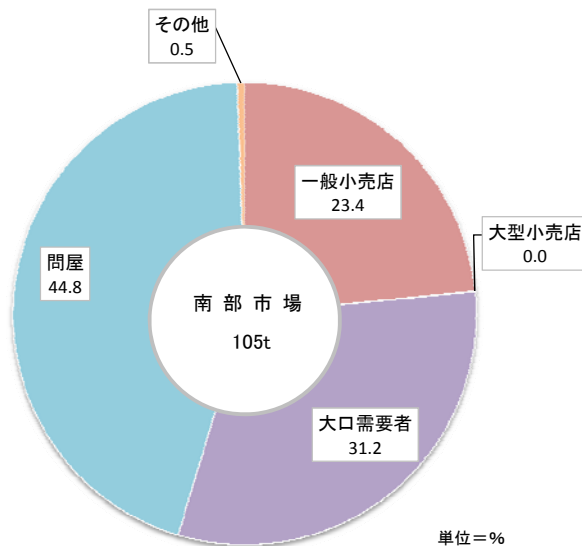
食肉の市場別の供給先

■ 食肉の供給地域



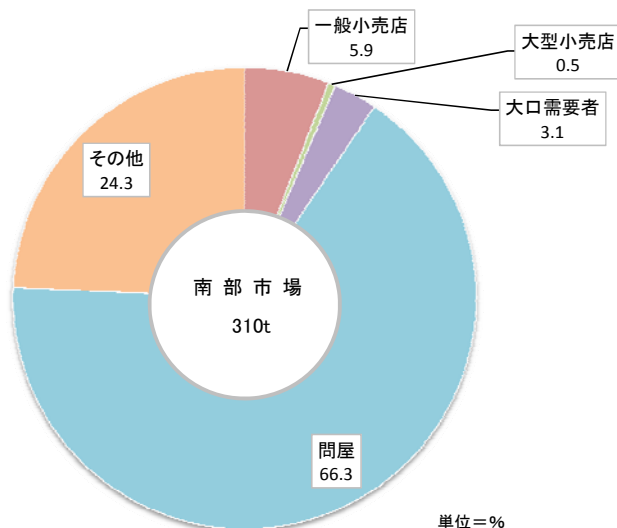
- 食肉の供給地域は、「開設区域」の割合が最も高く、「愛知県」と合わせると8割以上を占める。

○ 牛の供給先業種



- 牛の供給先業種は「問屋」の割合が最も高く、次いで「大口需要者」「一般小売店」と続く。
- 「問屋」「大口需要者」「一般小売店」ではほぼ10割を占め、「大型小売店」はない。

○ 豚の供給先業種



- 豚の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く、約7割を占めている。
- 豚についても、「大型小売店」はほとんど無い。

名古屋市中央卸売市場流通量推計調査報告書（第２回）
平成２５年１月 発行

編集・発行 名古屋市市民経済局市民生活部消費流通課
名古屋市中区三の丸三丁目１番１号
電話（０５２）９７２－２４３９
Fax （０５２）９７２－４１３６

この報告書は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。